

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-80)、  
廃棄物管理施設(55)、MOX燃料加工施設(2-42))」

2. 日時：令和5年8月1日(火) 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任  
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安  
全審査官、小野安全審査官、武田安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長  
他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月28  
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

・設計基準対象施設と重大事故等対処施設とで併せて説明すべき事項とそ  
れぞれ説明すべき事項の整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

・申請対象設備の分類及び構造設計等の説明に向けての整理がまず必要で  
あり、その後の添付書類での記載事項の整理等との関連を念頭に置きつつ、  
現状やるべきことを明確にして進める。

・設計基準対象施設と重大事故等対処施設について、説明項目をもれなく抽  
出し、それぞれの論点を整理した上で、設計基準対象施設と重大事故等対  
処施設での説明すべき事項の関係性を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

なし

### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年7月28日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	ロックを返しました。
0:00:04	規制庁ヨコヤマです。それはただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:10	あと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
0:00:17	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、7月28日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:27	規制庁側からの出席者は、本庁からフジワラ、大賀ヨコヤマ、
0:00:33	WEBから、コサク、
0:00:36	ハバサキ、キシノ、オオハシ、タジリ、タケダ、オノ以上となります。
0:00:43	それで日本原燃からまず出席者の紹介をしてください。
0:00:49	はい。日本原燃事務局の浜で、
0:00:52	4名の出席者紹介発信。
0:00:56	Steeringチームより、イシハラ、
0:00:59	ノモト、タカヤ、あとサポートメンバーといたしまして、セガワ、
0:01:04	あと事務局からMOX及び再処理の事務局へ参加させていただいてございます。
0:01:11	以上です。
0:01:12	と規制庁の藤原です。
0:01:15	今回、資料提出金曜日にいただきましたけど、もうそんなにボリュームもないものですのでこちら、一通り見ている状況です。なので詳しい説明というのはい一部、
0:01:26	お聞きする部分あるかもしれないですけども、とりあえず一番最初に確認した事項があるので、お尋ねさせていただきます。今回、これまで施設部方の資料が、ヒアリングであったり、
0:01:40	あと設計説明分類のヒアリングの中で、こういったDB間DBとSAを合わせて評価するっていうような話の説明をしていくという、
0:01:50	話ずっと来て、聞いてきていました。その中で、今回の
0:01:55	2ページなんかにも、本資料の目的とかを書かれていますけど、
0:01:59	この資料について、これまでの経緯を踏まえて、ここにこられているような目的、
0:02:06	を達成するための資料になっているのかって言った。
0:02:11	状況について、とりあえず認識をお聞かせいただきたいんですけど、この資料について、目的達成できていると思っているのか。

0:02:19	どうなのかっていったところを教えてください。
0:02:24	はい、宮城西原でございます。まず、ご質問に端的に回答すると、正直申し訳ないですけども、目的を達成する形の最終形にはなっていないと認識をしております。
0:02:39	規制官の藤原です。衛藤。
0:02:41	はい。こちらも
0:02:44	認識でして、これまでヒアリング等で確認してきた中で、もう少し違ったイメージを持っていたのは、こちらもそうだと思っています。
0:02:54	で、どうしてこういうことになったのかっていうのを少しお聞きしたいんですけど。
0:02:59	そもそもこの作る担当の方が、これまでの議会が少しうまくて、かつ、提出前にチェックをする方の確認が甘かったのか。
0:03:11	それとも、時間が厳しくてこれまでよくありましたけど、先に基金を設けてしまって、そこまで達成できるような資料になるまでに至らず、提出シマしてしまったのか。
0:03:23	そういったところの、今回のこういった目的を達成できる。
0:03:29	減ったための資料にできなかったっていったところの原因を少し教えてくださいいただきたいんですけどいかがですか。
0:03:38	はい。弓削の石原でございます。はい。
0:03:41	まずう、こうなってしまった作業の流れからいきますと、最終達成目標の共通認識がうまくもって出なかったというのがまず一つあると思います。
0:03:56	全員、前回ですから前回か、最初の設計説明分類を作った時の溢水とかの比較をですねやっていたディー・ディー・エスその時アクセスルート別出しにしましたが比較をしたもの。
0:04:11	これの項目だけを書いても、それぞれの繋がりがわからないので、目的とか、そこに対してどういう視点で見るのかと。
0:04:22	いうこと、どこの項目とどの項目が繋がっているのかということの、背景がわかるようなものもつけ足して、全体として先ほど今回の資料の最初の目的を達成できるようにしたいと。
0:04:37	というのが、もともと指示を出した私のイメージでした。その目的だったり背景だったりを、角の2添付書類の内容を使いながらやりたいという相談を受けて、それは、
0:04:53	中身が何も無いのに許可確かに書けないので、そこは確かにアグリーをして左右進めました。

0:04:59	その結果に対してこれでいいよねという確認が最終的に私の方でうまくできてなかったところだと思ってますというのが、
0:05:09	大きくは最初の時点でボタンのかけ違いと、最後のチェックの甘さという大きな2点かなと思ってました。
0:05:19	規制庁の藤原です。
0:05:21	はい状況については、
0:05:26	理解しました。それーで実際は今お話いただいたイシハラさんの中では、前の設計説明
0:05:35	類の後ろにある、後ろにつけていた、
0:05:39	DBとSAでどういった違いがあるのかっていうのを比較していくような表を綺麗にしていってって言ったところをきちんと整理するのが、この後ろについてくるものっていうようなイメージだったっていう理解でいいですか。
0:05:57	はい。宮城イシダでございます。目指したかったのはそうだというのは確かでございます。はい。
0:06:03	規制庁の藤原です。
0:06:05	そんなにこちらと認識を、衛藤イシハラさんとの認識はそんなにずれていなかったことは理解しました。今後どうしていくのかなっていったところも少し不安なんですけど、何か対策というか、
0:06:19	ありますかそれとも今回こうだったらできたのについていったところがあるのであれば、それを制限していただくというか、こちらに教えていただきたいんですけどいかがですか。
0:06:32	はい。日本原燃石田でございます。はい。私のカバー範囲の関係等もあるので、それぞれのパートってのはやはりサポートしてくれる人が、
0:06:45	中心に、そういうことの作業の振り分けだったり、アウトプットの作成をしてもらうので、須永の今回の場合でいくと私と瀬川の間でちゃんとコミュニケーションをとる。
0:06:57	その時にはアウトプットのイメージ、目的、アウトプットのイメージ、あとはそこに至る過程も含めて、全体的にやはり押さえるべきポイントを、
0:07:08	ちゃんとお互いにコミュニケーションをとって、合わせにいくということをしなないといけないと思います。そこは、前回ですかね進め方のヒアリングの中でも言われてました
0:07:20	ステアリングを握るっていうのは一体どういうことかと言うことは、最初と終わりだけではなくて真ん中もそうですしそれぞれ要所要所えた。やはり、

0:07:31	ステアリング握ってないと、当然ながらまっすぐ思った方向に物が進まないの、そういうことをやっていくということかと思ってました。
0:07:42	規制庁の藤原です。はい。そうだと思いますので、今後、その資料の作り込みであったり、ヒアリングに対応される時にはそういった点留意していただいて、
0:07:53	進めていただきたいと思います。
0:07:57	ただ今回資料を提出されていまして、一部見れる部分もあるのかなと思っているので、このあと事実確認をしていきたいと思っているんですけども、
0:08:06	ここまでと規制庁側から何かコメント等ある方いらっしゃいましたら、お願いします。
0:08:16	規制庁コサクです。
0:08:21	大枠としてですねこれ作業の過程の話でしかないの、最終ゴールじゃないものに何でこんなに資料作成に困らなきゃいけないのかっていうのが、
0:08:35	理解ができないところで、途中の成果物なので、これができたからといって達成感はえられないと思うんですよね。
0:08:46	じゃあ、最終ゴールが何でそのために何が必要かという、骨董で資源を投入していく必要があるのかなと。
0:08:57	思ってるんですけど、
0:09:00	先ほど石原さんが言われた目的というか、
0:09:06	内容っていうのは、
0:09:09	何か途中段階のような気もするんですけど、最終的には分類を整理したい。
0:09:16	ていう。
0:09:17	でもそれもあれなんですかね。
0:09:20	大きく言うと分類を整理したいということとその後、添付書類とかで説明の会計を合理的にしたいという、
0:09:29	大きく言うと2. のような気がするんですけど。理解はいいですかね。
0:09:34	はい。議員の石田でございますはい。おっしゃっていただいていることが目的だと思ってます。それぞれのパートが設計説明分類の設定だったり、
0:09:44	共通順位の資料、3事業に、構成どうしていくかどう合理的に説明していくかということにつなげないといけないということに至ってやはり、この

	資料がどの位置付けのものか、この資料の位置付けからしてどういうアウトプットをはじき出さないといけないのかと。
0:10:01	いうことを、しっかりと整理して、資料作りに行くということかと思ってます。おっしゃっていただいている途中段階なので、このアウトプットにそんなに何て言うんでしょうか。
0:10:13	精度とかレベルとか、高いものを求めるというような考え方がちゃんと整理できていけばアウトプットとしては成立するのかなと思ってます。はい。
0:10:23	はい。おそらくです。そうだと思うんですねその時に今の
0:10:27	大きなアウトプットが二つあるという時に二つがなんでまとめてこう対応してるんだというところでやるべきことは、混沌としてしまってるんじゃないかなと思うんですよ。
0:10:42	その点では、この2点をまとめてやっている理由とかですね、どうしてかつもりなんだっていうのは、何か、
0:10:51	イメージありますか。
0:10:55	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:11:00	確かにいろんな資料を私も同時に見ているので設計説明分類のチームが作っている資料だったりそれとこれの関係。
0:11:11	当MOXで共通資料作りながら、再処理で作る場合こういうことを気にしなきゃなと思ってることっていうのが、それぞれありながら頭ん中でグルグル回っているいろんなものを紐付けて、
0:11:23	それぞれのアウトプットのイメージを作っていると思ってます。そこが多分、うまくニイツ部会でできてない。結果として、
0:11:33	正しいというか端的な指示になってないとかですね正しい方向性を導き出せてない。
0:11:40	お互いのコミュニケーション中でうまくそこがマッチしないんじゃないかなと思ってます。なのでまずは、しっかりと目的を因数分解してですね、それぞれの、何に対してはこういうことをやんなきゃいけないとかっていうのを、
0:11:55	整理をし、話をしていく必要があるかなと思ってます。
0:11:59	はい。
0:12:03	はい、そうです。
0:12:09	分類を整理するにあたっては説明事項が一緒だから、まとめる。
0:12:14	で、一緒では完全に一緒ではないけど類似なのでということでまとめると、



0:12:22	いうことであってそうすると説明事項って何だと、いうことをまず整理しなきゃいけないと。
0:12:29	いうことになりで、その説明事項整理をすとなると、最終的なアウトとなると添付書類の構成になってると。
0:12:39	ということなので、説明事項まだアライ上げるという意味ではどちらの作業にも共通すると。
0:12:46	ということだから上げていきましょう。
0:12:49	それで
0:12:50	同一性類似性っていうのを整理をしましょう。
0:12:54	いうのは全く一緒であって、
0:13:00	それを上げているんだと思うんですけど。
0:13:04	それ、その肝心なその内容がすごい漠としていて、
0:13:10	かつ、比較と言ってる表は、
0:13:14	現状の添付書類の比較にしかなくておらず、これでは記載が足りないといったことについてどうしていくんだというようなことかもよくわからないという資料になっちゃってるっていうことなんで、
0:13:26	ですよ。
0:13:28	作業としては添付書類から抜いてくるのは別に構わないんだけど、
0:13:33	大本で言えば、共通受アノどちらにしても共通 12 がベースであって、基本設計方針を分解していくという、
0:13:43	ことでの対応であるはずであり、
0:13:47	その作業の流れともまた乖離した資料になっちゃっていて、よくわかんないんですけど、
0:13:53	その点はあれですかね。
0:13:55	サポーターのセガワさんはその添付書類、カラーの作業にして、させてくれっていうのでこれを作った理由とか何、どういうお考えでなのか。
0:14:05	教えていただけますか。
0:14:08	はい。日本原燃の瀬川です。ご指摘の通りですね、記載がまだ足りないというのは、認識はしていったところです。
0:14:18	実態の作業としてこういうアプローチ取ってしまったところはですね、
0:14:23	SAとしてまず本来あるべきこの輸出に対する設計の流れというのを、ちょっと甘いかもしれませんがけれども、一つデービー側のその施工に、
0:14:35	を、またようにしていただくという、まず第 1 にあります。その上で、添付書類からの内容引っ込みてくるということを今回作業したんですけども、

0:14:45	実際 12 月 26 日の申請の内容を見るとですね、大分SAとしての記載も不十分で、今回の設計方針の比較、
0:14:56	説明したいことの比較という意味では、ちょっと記載が足りないねというので、まずデービーと同じたてつけで、SAとしてフルで書くとしたらどこまで書くんだろうというのを、まずトライしちゃってました。
0:15:11	そっからですね、非本本当当であれば、その添付書類のたてつけだとかそういったところは、1 回置いといて、その内容を素材にですね、
0:15:24	設計としてあるべき流れに、その項目を整理し直して、そこに対してSAとしてはどういうことを説明したいんだというふうにもう 1 確保すべきであったんだろうなど。
0:15:36	いうふうにちょっと今改めて感じておりますけれども、すいません実態の作業として、私自身のその何ていうんでしょう、理解も含めてですね、そのレベルに達してなかったといったところが、おっきな
0:15:50	原因かなと思います。資料提出直前にですね、イシハラからちょっと是枝と、まだ、中途半端だよねと。最終的なその整理のアウトプット比較のアウトプットとしての示し方としては、
0:16:05	ちょっと適さないんじゃないのかと、というような指摘は、
0:16:09	あったところなんですけれども、是正し切れなかったという部分もございます。以上です。
0:16:17	コサクです。
0:16:20	よくわから長くなっちゃってるんですけどセガワさんが言われている話だとうこの資料にならないような気がしていて、
0:16:32	どこでどう
0:16:34	間違っちゃったのかがよくわかんないんですね。
0:16:41	等現状の申請書だと記載が甘い、なぜかという、条文番号をちょっと、
0:16:53	忘れてしまいましたが、重大事故等対象設備の要求事項っていうと余りにも漠としていて、
0:17:01	とても溢水対応としてどうするかっていうことを具体的に書いてあるわけじゃない。
0:17:08	要求事項は特に何も書いてないですけど、許可事項から考えてもそんなに書いている。
0:17:14	ということで、大枠でいうとDBと同様っていうのは外的事象の方で整理をしていますけど、
0:17:22	DBというかSクラス相当ですかね。

0:17:26	だったり或いは内的事象については非安重だけでも、どうしますという ようなことだったりっていう、要は食うで書いてあって具体は書いてない というところが多くて、
0:17:37	それを
0:17:39	大枠でもうすでにDBとの関係性がわかるものは、書き下す必要もない ということなので、
0:17:47	今回の資料だと、
0:17:51	4 ページ以降DBとの関係性だけ書いてという感じになってるのはそん なにおかしいことではないと思うんです。表し方がこういう図かっていう のはありますけど、
0:18:06	その点は、示し方っていうところで一番最初にこういう作業でいいですか という作業でこういうアウトプットでいいですかっていうのを、イシハラさ んと相談をして作業に入ればよかったと。
0:18:17	いうことだと思うんですけど、先ほどの溢水とかですね、概念的に十分 整理できていないものを改めて書き下すと。
0:18:27	いうことが、確かに今回大事なのかなと思うんですけど。
0:18:33	それで言うと、
0:18:37	と、
0:18:39	9 ページ以降ですかね。
0:18:42	こういう資料にはならないと思うんですけど。
0:18:45	なんでそうなったかっていうと書いてはいないけどDBの方を見ながら、 DBと同じようにややることにしますとかっていうのを備考で書くという形 で整理をしたってことですか。
0:19:01	はい。日本原燃の瀬川です。
0:19:03	次、次ちょっと実作業を説明させていただきますと、本当はこの左っ側 にですね、添付書類ベースのもっと文章だけのですね、
0:19:14	本当添付書類ベースの文章を 1 回作ってます。その時には、設計基準 の設計方針評価方針というのを参考に横目に見ながらですね、
0:19:24	SAとしての要求はどうなんだと。
0:19:27	そこは何ていうんでしょう設計基準と同じだからもう設計休日基準と同じ ベースというふうに、省略するのではなくて、SAとしてエミル条件、
0:19:37	です。DBの条件を見るという場合にはどう書くんだろうというのを愚直 に、書き起こしたものがこの前段階の作業としてございます。

0:19:47	そっからさすがに読みづらすぎるので、ポイントとなる部分を抜粋して、こういった簡略版というような形に加工したというのが実態でございます。
0:19:58	で、右側の備考少しコサクさんに触れていただきましたけれども、こういう目的でSA、設計方針を定めてるんでこういう考え方だから、
0:20:09	これはDBと、登場人物、同じというか同じ設計分類で説明してもいいよねと、そういった考え方を少し引きオガワに宇津木出すと、そんなことをやったのが今回の資料でございます。
0:20:26	古作です。
0:20:28	と、今の話だと、
0:20:30	現状で書いている添付書類ナンバーって書いてあるのは実際の添付書類じゃないってことですか。
0:20:38	はい。日本原燃の瀬川ですそこも申し訳ございません。その通りです。現状 12 月 26 日に申請した添付書類では書き足りてないところ、そういったところをしっかりですね、
0:20:52	プラスする情報を入れてですね、書いたのが今回の資料で、次回申してこれで決定ではないんですけども、今現状考えてる
0:21:03	記載見直し案の要旨というふうにとらえていただければと思いますちょっとそういう旨も書かずにですね、添付書類番号書いてしまったり、SM 目次とかって言ってまだ決まってもいないものをですね、ちょっと書いてしまったりということで、
0:21:16	誤解を与えてしまったなというのをちょっと後悔しております。以上です。
0:21:22	古作です。状況はわかりました。そうすると、
0:21:27	先ほど言ったその二つ能成果物ということを考えたときに、
0:21:33	二つ目の方に注力し過ぎってことだと思うんですよね。
0:21:38	こうやって記載ぶりを整理していくという前に、高も食う。
0:21:44	なり趣旨といったところを、
0:21:47	簡略的に概括できるようなものをまとめて、それでまずは分類なりなんなりということが一認識共有、
0:21:58	できないと、内容として一緒にしていった方がいいか分けた方がいいかっていう議論もなかなかしづらいので、
0:22:07	ちょっと詳細に行き過ぎたのかなっていうふうには思います。
0:22:16	はい。日本原燃の瀬川です。ありがとうございます

0:22:21	そこがちょっと私の技術力の足りないところだったのかもしれないですね、本来コサクさんがおっしゃる通り設計を進めていく上での上流からの流し方。
0:22:35	一斉であれば何を守りたいんだ、どういう現象、溢水のどういう現象から守りたいんだ、それをどうやって守っていったらいいんだらうね、そういった物事の流し方っていうものがあるはずで、
0:22:46	そこをですね、
0:22:49	さぼったというかですね、設計基準側に一定程度その流れがあるといったところを拠り所にちょっと下流側からアプローチしてしまったと。
0:23:01	で、しかもそのままその成果を出してしまったといったところに、問題があったんだらうなと思ってます。
0:23:10	はい。コサクです。それで言うんですね、5 ページ 6 ページに、
0:23:15	溢水の関係があって、他もそうなんですけど、設計のプロセスが有井で、
0:23:25	それがまずうDBとSAで違いがあるのかないのかと。
0:23:31	ということですよね。
0:23:33	て、
0:23:34	基本的にありませんっていう感じで書いてるんですけど、本当かっというようなことをちゃんと整理をしていない流れちゃってる感じがしてですね。
0:23:44	前回ヒアリングだと、SAではアクセスルートってあるけど、DBの方はありませんみたいにして書いてあるんだけどいやDBもあるでしょうっていうことをお話したわけですよ。
0:23:56	そうするとそういったところが、いやあるでしょってなぜ言われたかっていうと設計方針に書いてあるからってやって、そういうところをちゃんと漏れないよう 2 アノ奉仕共通 12 で、
0:24:08	資料資料 2 っていうんでしたっけ。基本設計方針分解していく中で対応関係を整理をすると。
0:24:18	というような着眼点は、このフェーズでもちゃんと漏れないようにしてくださいねというお話をしたと。
0:24:26	ということで、そこがどの、
0:24:30	漏れないですよっていう説明を添付でつけてもらわなこの資料に入れてもらわなくても、最終的には共通 12 で見れるので、
0:24:39	そうやってやった結果こうですよっていうのがまとめられていればいいと思うんですけど。

0:24:46	そういったところの作業プロセスなり何なりが見えないってことで、この資料何っていうのがわからないってことに繋がったのかなと。
0:24:56	思ってます。
0:24:58	後ろについてる表も、結局は、現状の添付書類を縦から縦にずっと並べているだけで、このプロセスの体系であったり、
0:25:09	1 制限っていう視点と、
0:25:14	防護対象という視点ととかっていうところで
0:25:19	話が切り替わってるというようなことなんかもよくわからない状態なんで、
0:25:25	せっかく図面を書くのであればそういう関係性を整理をして、
0:25:31	アクセスルートってのはどういう位置付けのどうなのか、そこに同一性があるのかないのかと、いうことだったりが見えるようにしていただけるとよかったのかなというふうに思う。
0:25:49	はい、日本原電の瀬川です。はい
0:25:53	まさにですね、イシハラからもですね、
0:25:57	同じような指摘を今まさに受けてた。今日午前中なんかも指摘受けてたところですね、繋がりがつつものがちょっと、
0:26:05	希薄でして、項目項目で何か内容を比較してるだ形で、物語としてという、設計のプロセスとしての流れっていうのが、見えてない。
0:26:16	のは、認識していたところですので、そういったところもですねちょっと工夫をさせていただきたいなというふうに改めて思っております。以上です。
0:26:27	はい。補足です。そうするとですね、まずは、
0:26:32	DBとしてその設計のプロセスがどう組まれていて要求事項は何で、
0:26:40	対象は何でっていうのは整理をしているはずで、
0:26:44	そこ 2、
0:26:46	SAを並べてみようとしたときに、
0:26:50	まずは同じ枠なのか。
0:26:53	違う、違う視点はないのかって関係からはSAの要求事項っていうのに照らし合わせて見ていくと。
0:27:00	いうことが必要だと思うんですね。
0:27:03	作業からするとまずDB担当が、
0:27:08	そういったところでSAに僕らはこうですよっていうことを示していただく必要があると思うんですけど。
0:27:16	そういう活動ってされてます。

0:27:24	はい、宮城西尾でございます。はいこの作業をやるには当然伊勢チームとも話をしてやるようにはなってますし、実際、同じ場所に膝突き合わせて話をして、
0:27:38	リリー側の設計のコンセプトだったり流れであったりっていうのも話をしながら、作り上げているのは実態でございますただそこがどういう視点でっていうのが、まだやはり
0:27:50	ありなかつたりお互いのコミュニケーションがうまくいってない部分あると思いますので、そこをさらに詰めていきたいと思いますはい。
0:27:59	はい。補足です。今映していただいている5ページは、
0:28:03	Dでの論点っていうのを漏れなく見せるっていう形にはなっていないくて表面づらでしかない。
0:28:11	結果としてアクセスルートの話がない。
0:28:15	いうことのままになってるっていう感じがする。
0:28:19	ですけど、前回のヒアリングを踏まえての対応って何をされたんですか。
0:28:33	はい、乳井西浦でございますおっしゃっていただいて受けに行くとアクセスルートをただただいただけなので、DB側特に入れてないところの、そのコミュニケーションとしてうまくいってないところは、
0:28:46	そういう点で、DBも含めて全体をちゃんと見直すという視点での議論がうまくできてない。これ当然ながら一睡もこの
0:28:56	京都人に入る前提として、今後、業績方針のこれまでの指摘事項対応も含めて説明をすると。
0:29:03	言ってる点も含めて全体を、それぞれの資料の間でちゃんと関係性があるということ認識した上で、対応を進めていくという必要があるということの、まさしくそういう点の抜きだと思ってます。はい。
0:29:18	はい、古作です。
0:29:20	今後どうあるべきかはもう少ししゃべりたいところはあるんですけど、とりあえず現状認識は取れたかなと思うので1回藤原さんにお返しします。
0:29:32	はい。規制庁の藤村です。
0:29:34	この後、
0:29:37	今回資料提示のあった部分の中身について、事実確認をしていきたいと思っておりますが、
0:29:44	ヒアリングの最後に、今回のこういったちょっと、
0:29:49	こちらのイメージ等のずれがあったことによって、この資料、この資料でこういったずれがあって、認識のそれが

0:29:59	先日の進め方の資料で、これはどれとリンクしていきますとかどういう関係がありますと言って、整理していった、府へと図図というかフローがあったと思います前回の、
0:30:12	進め方ヒアリングの4ページとかですかね、つけていただいて多分案、あれをちょっと検討はされるということでしたけど、それと、その中で、関連していく部分、
0:30:22	に対して少なからず影響はあると思っているので、今回のヒアリングで、
0:30:28	事実確認していった内容も含め、このリヴァイこの資料のリバイス版がいつぐらいに提示できるのか、あとそれと関連するような資料への影響、
0:30:43	今まで掲示している通りのスケジュール感で進められるのかとか、少し、これによって
0:30:50	提示が遅れますみたいな話があるのかないのかっていったところは、ヒアリングの最後のところで確認しようと思っていますので、今の、もうすでに検討されていると思いますので、
0:31:03	今回の日より、あとヒアリングを、
0:31:05	も含めてで、後程回答いただきたいと思っています。
0:31:10	で、とりあえず、
0:31:13	8ページぐらいまでのところで、この資料の中で、
0:31:18	へえ。
0:31:19	気になっている部分、事実確認したい部分といったところを、各担当から確認していこうと思っているんですけど、まず、私から何点かお聞きしたいのが、
0:31:32	今回その2ページ3ページ後それに続いて、事象が幾つか並べていて、2ページ3ページのところでも書かれている課長証券等の中で、
0:31:42	いくつかの事象を書かれているんですけど、
0:31:45	環境条件等で考えている事象とか、状況条件なんかはもっとたくさんある。
0:31:52	部分だと思いますが、
0:31:54	ここに書かれている以外の部分ってどう整理されようとしているのか、お聞きしても大丈夫ですかね。
0:32:09	はい。日本イシハラでございます。まず環境条件の中から特に3ページのところで、
0:32:20	3ページじゃねえな。2ページか。



0:32:25	2 ページのところでは環境条件等(夕)津崎火山、外部火災溢水、薬品漏えいというのを書いています。おっしゃっていただいたように環境条件等で見なきゃいけないのはこれだけではございません。
0:32:38	DB側で評価なんかをやっているものでDBA性とコラボしながらやらないといけないものを抜き出したということでその前ふりの考え方が
0:32:53	多分もともと足りてないので、唐突になっているというふうに思ってます。
0:32:58	それぞれ外部環境条件等でやらなきゃいけないそれ以外の事象についても、設計方針をちゃんと説明しないといけないと思ってますので、それについては、個別にもともとSs-Aアノ整理をするとはいえ、DBと条件は一緒とかです。そういうのを
0:33:15	資料 23 共通要因でどう説明していくかのものとあと設計説明ぶりどうするかと、ということも考えて、その整理の考え方を示さないといけないとは思ってました。
0:33:25	とはいえ今回評価者を抽出してここだけを書いているというのが実態の流れでございました。
0:33:34	規制庁の藤原です。タイトルとかにも、評価等を合わせて評価等を行う項目にかかるというふうな話があったので評価のものだけをとりあえず、
0:33:44	今現状並べているのかなといったところは少し推測していたところですので、そういった状況なのかなと思いました。今、石原さんがおっしゃった通り、唐突にやっぱりこれだけが書かれているのでそれ以外のものどうなったのっていうのがやはり気になるところでありますので、
0:33:59	今後そういったところもちゃんとどう整理していくのかっていうのはわかるようにしていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
0:34:08	あと、すいません私の方でも、ごめんなさい、規制直属です。今のどうしていくのかっていうのを明確にっていうことなんですけど、
0:34:18	何か個別にタスクとして立ち上げる必要があるかっていうことなんですけど。
0:34:25	あんまり私としてはイメージを持ってなくて、
0:34:30	まず全体像をちゃんと説明する、だからこういう作業をしてこう分けていくんだっていうようなことをちゃんと頭の整理をしてくってことのような気がするん。
0:34:41	ですがそこら辺は現イメージ持ってます。

0:34:45	はい。日本原燃石田でございます。はい。まさしくそのスキームは私 が示さないといけないことで先ほどあった設計説明分類との関係も含め て、
0:34:55	タスクの中で整理をしなきゃいけないことと全体の枠組みの中でのこの タスクの位置付けというのを明確にして、進めていけばいいのかなと思 ってました。おっしゃっていただいたようにそれを、
0:35:07	別のものを個別に何か立ち上げて出すとしてやるということではないと は思ってますはい。
0:35:14	はい、蘇武です。それで言うと、
0:35:17	まずここで、第 36 条要求に対してということ言えば、まずゆ、この要 求事項にも、原燃の中である。
0:35:29	体系整理をして、環境条件等ということでのものと、機能ということと、機 能で個数容量ですかね、ということとっていうので、あと、
0:35:42	検査操作性だったり、
0:35:44	体系づけられているはずその体系の中で、累計すべきものをする必要 のないもの。
0:35:53	説明項目があつてということですけど、そういうのをまず 1 回整理をし、 その結果として、この部分はそれぞれ説明する必要があるんだけど も、
0:36:03	類似でDBでもそういう説明が外部衝撃の方であるのか、内部事象 の対応であるんでということとでその関係性を整理をして、
0:36:18	同様のものは一体として説明するという方針がまずあるんだと思うん です。
0:36:24	その時に、その部分は、
0:36:28	同一かもしれないけど、それ以外の条項であつたり、特に機能という関 係では違いがあるわけで、
0:36:36	その違いがあつても、
0:36:38	説明分類として一緒にいいのかどうかと。
0:36:42	いうことをまず整理いただかないといけないんだと思うんですけど。
0:36:46	そのあたりはどうお考えになってるんですか。
0:36:49	はい。乳井志田でございますはい。そこを今、タスクで立ち上げてい う、実際は、
0:36:59	こないだサポーターとして挙げましたシミズのチームにやらしているも の、当然これともコラボするんですけども、

0:37:06	設計説明文に挙げたものに入っているものがどんなものがある、それに対して説明すべき設計方針というのはどんな項目がある、
0:37:16	それが、それぞれどういう関係にあるとこれとこれは同じことを説明する、同じ論点のものだと、これは設計説明分類として合わせてやる。
0:37:27	これは機能としてあるものについてはSA単独でやるべきだということであればそれを徳田して、分類を起こすというようなことを、こないだお話をしたマトリックスの結果として、
0:37:39	整理をしていこうということで、作業を進めております。
0:37:44	と規制庁コサクです。それで言うと先ほど藤原が言った進め方ヒアリングでの資料の、
0:37:53	説明、設計説明分類の設定等のタスクの方でそれは整理するので、こちらのタスクとしては、その、この部分の、
0:38:05	へのインプットということでの、
0:38:10	整理作業をしているんだっていう理解にすればいいってことですかね。はい。日本原燃石原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りの整理で頭の中で思っていました。なので私がなきゃいけないのは、前回
0:38:23	共通に関連すると言っているいろんなタスクが立ち上がっているの、そもそもどういう枠組みで、このタスクがあるっていうそれぞれの目的とそのリンクであったりと、
0:38:33	いうことをしっかりと整理をした上で、それぞれタスクを走らせるということが必要かなと思ってました。はい。
0:38:42	はい、そうですわかりました。そうすると2ページとカー。
0:38:46	3ページ、特に2ページですかね。
0:38:49	については、その進め方部屋で、本作業は、矢印が三本に、
0:38:56	出ている、
0:38:57	設計説明分類の設定に伸びると、十時17に伸びると溢水に伸びるもの、三つになってるんですよ。
0:39:06	ということからすると、そういったところへのアウトプットす。
0:39:12	送り先に対してはインプットですけど、
0:39:15	そういうものを整理をしていくんだと。
0:39:18	いう位置付けを明確にされるということで、そちらでどういうものがニイズになっているのかっていうのはそちらで詳述してあれば、ここでまた、
0:39:29	違う言葉で言われても困るんで

0:39:33	整理を進めていけばいいのかなと思いますか。そういう認識でいいですかね。
0:39:38	はい。与儀西原でございますはい。おっしゃっていただいた通りでございますありがとうございますはい。
0:39:47	はい。藤原さんどうぞ。
0:39:49	規制庁の藤原です。ありがとうございます。今後進め方の資料の方のところで、どういったものをインプットとなるのかとかいったところの整理が見えれば確かにわかるようになるなと思いました。ありがとうございます。
0:40:03	続いて、確かに確認したいのは、実際これ、この資料なんですけど、2ページ目にも書かれているように、今後、1117として整理するという話があったんですが、
0:40:16	実際にどうされるのかをとりあえず聞きたいんですけどこれはもう次の段階では十時 17として提出されるんですかそれとももう1回、これのリヴァイスパンとして何かステップを踏みますか。
0:40:33	はい。宮城の石田でございます。現状考えてましたのはもう一度、
0:40:39	単独の資料として、まずはその進め方方向性だったりも含めて目的も整理した上で、この形でこの単独の資料として整理をして、その次に9、1017にというふうに思っていました。
0:40:56	規制庁の藤原です。わかりました。では最終的にはヒアリングの最後にその提出のめどとかそういったところをお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:41:09	続いてこんな言葉GDとかになってしまうんですけど、3ページ目の一番最後に書かれている大矢印が、
0:41:19	私にはちょっと理解ができてなくて、
0:41:22	言葉の問題かなと思いつつ、2行目の、後者は第36条要求に該当しないとかっていう言葉があるんですけど、そもそもここで言いたかったことって何なのかっていうのを説明していただいていいですか。
0:41:35	はい。宮城ニシダでございます。これもう、表にまとめる時、やはり目的であったり結果として何を求めたいのかというところをしっかりと整理をすることによって、
0:41:49	5社となっているところを整理できればなと思ってますが、
0:41:52	スロッシングで見なきゃいけないことはここに書いてある通り、一行目の周辺機器が機能喪失するかということ等後は、スロッシングによって水

	が抜けて臨界とかほか機能の維持に影響しないかという二つの指定を見ると、
0:42:09	ということだと思ってます。後者については、36 条要求に該当しないというよりも重大事故としてのプールの事故を対象に関わる条文側で、その要求をキャッチアップするものだと。
0:42:22	いう整理をしています。ここもやはり、
0:42:24	それを新宮自体で見なきゃいけないものっていうのがそれぞれちゃんと項目を挙げてその目的とその結果、評価として見なきゃいけない視点であったりというのも、
0:42:35	除けて今一度整理が必要だと思ってます。はい。
0:42:41	規制庁の藤原です。実際に整理したい項目が二つあって、
0:42:47	ていうところまでは理解をしました。実際、
0:42:52	これまでのヒアリングとかでも少し気になっていてどう整理されるのか、結局結論をつけたかどうかってまだ正中かもしれないですけど、個数容量ってどうされるようになったんでしたっけっていったところと、
0:43:05	結局この辺を関係するのかなのかといったところも気になったんですけど。
0:43:09	整理の状況とか考え方って、
0:43:12	今聞いてたりしますか。
0:43:20	日本原電の瀬川です。
0:43:23	まず 2 点あると思っていて、このスロッシングを考慮して水が一そもそも事故対処に必要な水が引き続き確保できるのかどうかというのは、
0:43:36	これは個数要領に絡めて設定根拠説明書等で説明していく内容だというふうに認識しております。もう 1 点今藤原さんがご指摘されたその個数要領っていう 36 条要求の方針、
0:43:52	これを踏まえても、今やろうとしている設計説明分類の中で何かちゃんと説明できるのっていうような、市ご指摘かと思います。その部分につきましては、
0:44:06	ちょっとこれ別資料、別資料というか、だんだん進め方資料の設計説明分類の設定等の方でもしかしたら整理すべき内容なのかもしれませんが、
0:44:17	まず再処理の設計説明分類は従来からご説明させていただいてる通りどう守るんだといったところが主眼になって分類が設定されてます。

0:44:31	一方で、個数容量っていうのは、これどう守るかではなくて、その設備がどういう機能を発揮したいからどのぐらいのものをどんだけ準備しなきゃいけないのということで、どちらかというと機器機能側、
0:44:45	守る、守り方ではなくて、機器の機能を発揮するかという観点になっていて、同じ時期には収まらないというふうに認識してます。
0:44:55	ただですね、その中でもですね、すいません、たどたどしい説明になっちゃうんですけど、今考えてどう守るかという観点でまとめた設計説明文の中に、
0:45:08	枝葉としてですね、代表設備を複数ちょっと準備させていただいて、機能をどう発揮する、例えば凝縮機みたいなものに対して、
0:45:19	今の設計説明分類ですと、屋内、屋内、何だっけ、屋内屋内何とかすいません、屋内の屋内機器配管。
0:45:30	みたいな形に整理されるんですけども、その中で、溢水だとか、火災そういった説明の項目とはちょっと切り離してというかですね。
0:45:41	枝葉として、そういう中でも機能発揮の説明が必要な凝縮器はこういう構造になってるんですというのを、差分説明の形で表現していくのかなというふうに、
0:45:52	ちょっと考えていたところでした。イシハラとはまだ認識合わせできてなかったですけども。はい。以上です。
0:46:03	町の藤原です。
0:46:05	実際、以前、十時 17 とかを整理してた時にも、個数容量とかその設定根拠説明書との関係性とかっていうのは確かに何か、
0:46:15	どう考えようかみたいなところを議論、議論というか、持っていた時ぐらいで、少し何か話がふわっと聞いていった経緯があったので、
0:46:25	堂々なんて言ってて、置き去りになってないよねって言ったところが気になったところでした。混合、
0:46:32	実際に具体的な話を聞いていく中で、本当にどう整理するのが綺麗なのかとか本当にちゃんと説明できるのかっていったところが確認できて、
0:46:42	やればいいのかと思いますので、
0:46:46	忘れずに検討いただいて、具体説明するときにも、
0:46:51	話を聞けたらいいのかなと思っています。
0:46:55	はい。コサクです。今の点で言うと、
0:46:58	整理スルーパワー。

0:47:02	これの次の、設計分類の設計説明分類の設定のところだと思うんですね。
0:47:08	その時に、ここでその評価等を行う項目ってまとめちゃってるのがよくなくて、
0:47:15	今みたいな機能に対する説明っていうことがどう
0:47:20	分類の設定の中に効いてくるのか、と扱っていくのかっていうことの項目としてちゃんとパスを出さなきゃいけないっていうことだと思うんですよ。
0:47:29	そういうところを、先ほど2ページとかで整理をしておくっていうことですかねっていうような話をしたつもりです。
0:47:37	設定根拠説明書とかの説明は2-2の時に説明をいただくことになるので、直接2-1の説明の時の分類II A、A、
0:47:49	直接の影響があるわけじゃないんですけど、一方で機能として何らかシステム設計の中では説明が必要になると。
0:48:00	ということだと思いますので、どのタイミングでシステム設計のその部分を説明しますかっていうと、構造設計の関係から、特に外部事象関係の説明をする時に合わせてやる必要があるのかどうかと。
0:48:16	いうことで
0:48:20	必要があればその場でやるんですけど、ずらして別途やるっていう会もあるし、
0:48:29	代表として何を言ってやりたいかによってその説明の順番というのも変わってくると。
0:48:34	ということだと思うので、その他あたりの構成を考えるのは、やはり設計説明分類の設定の中で、MOXなりでも考えたこと、
0:48:45	を踏まえて再処理全体としてどうしていくかということになるんじゃないかなと思います。
0:48:51	以上です。
0:48:54	はい、宮城西田でございます。ありがとうございます。おっしゃっていただいている通りだと思ってまして。
0:49:02	設計説明分類の設定等というタスクの中でしっかりと整理をしなきゃいけない。その中で、DBとSA別々に設定する必要もない、合わせ技でできるようにっていうものと、SAとしての要求として、
0:49:17	説明していく必要があるんじゃないかという回答をいくつかあると思っていてその会を分けるのはやはり、その中でどういう設計を、の説明をしていくか、システム設計構造設計なりでどういう説明をしていくか。

0:49:31	代表選手をどう考えるか、その代表の考え方がそもそも、合わせ技にして成立するののかということも含めて、考えていけないといけないと思ってまして。
0:49:42	そういうことも含めて設計説明文の設定の中では整理をして説明をしなければいけないというふうに認識をしております。
0:49:53	はい、古作ですよろしくお願ひします。というの、先ほど、
0:49:58	例示として凝縮器を挙げられたんですけど、凝縮器の容量っていうのは非常に構造に密接に繋がっててですね。
0:50:07	そうする等、その部分の説明なしに構造ワーキけないよねっていう感じもしたので、そういうものワー
0:50:18	要求事項なんかも含めてしっかりと説明を一通りしないといけないのかなあと。
0:50:24	思うと、それに引きずられて説明を一石した方がいいということになるものがあってっていう。
0:50:32	感じがするなあというのでお話をしました。一方であまり単品としてそういう構造との繋がりが無いものは別途でもいいんじゃないかなというふうに思いますし、
0:50:46	その点はMOXでのグループなり、項目の順番を整理をする際にいろいろと関連性を意識しながらまとめられているので、
0:50:56	今の観点を踏まえてその設計説明分類の設定の方でよく考えていただければいいかと思ひます。
0:51:11	規制庁の藤原です。
0:51:15	その後 8 ページぐらいまでちょっと私ずっと言ってるので、DB側の方にも、何かあればお聞きしたいかなと思ひているんですけど何かその他、
0:51:28	旧町側から大体 8 ページぐらいまでとりあえず、
0:51:31	あれば、お願ひします。
0:51:37	長田尻です。ここまで話出てきたみたいに、DBの話の流れに沿ってそれやるっていう結局DBの整理できなかつたりとか、改善されるんだと思ひうんで今後よろしくお願ひしますというところと、
0:51:50	あと今 3 ページ開かれているので後で後の比較表のところでも話をしたいんですけど、最初の一つのダイヤのところ、考慮すべき事項を想定する。
0:52:02	現象の規模とかまでわかるんですけど及び防護方法っていう話があつて、後ろの方を見ると、DPというせいで何か防護対策を変えているよう



	なところもありそうな気がするのでそういった点もちょっと後で聞きたいと思ってるのでよろしくお願いします。
0:52:21	小阪です。今言ってい
0:52:24	タジリが言った点ですね。
0:52:26	この表現が非常に雑通なんですよね。
0:52:29	5方法というところの、一緒なものはSA、DBと一緒に説明するんでしょうし、オリジナルものものは
0:52:39	オリジナルとして説明しなきゃいけないと、いうことだと思います。で、これもおそらく十時17の方を意識し過ぎてたと思うんですけど重大事故側で整理をする。
0:52:52	ていうのを、ここで言うことじゃないですよ。
0:52:56	ここで言うべきことは、DBとSAでやる説明すべきことっていうのを並べることで、同一か否かを整理をすることっていうだけだと思うので、
0:53:07	その点もうここでのタスクっていうのをちゃんと認識をして整理をする必要があろうかなと思います。
0:53:15	はい、乳井西原でございますはい。おっしゃっていただいた通りですね、本来ここでやるべきタスクとの関係で、表現一つ一つ見ながら、
0:53:26	目的との関係でやっぱりしっかりと書くべきことを書く、余分なことを書かないということだと思いますけど、整理を進めていきたいと思いますはい。
0:53:48	北。規制庁の丹治です。次にもう1点だけなんですけど、5ページ6ページのところで溢水の話があって、3ページの一番下にあったスロッシングの話の絡みになるんですけど、
0:53:59	5ページのところ、この
0:54:02	見方だけなんですけど評価のところから下矢印で伸びて影響評価の流れっていうふうに書かれているのは、これは評価を詳述したらこうなるっていうでよかったでしたっけ。
0:54:15	はい。日本原燃石田でございます実際は評価というような設計なんですけどね次、カワモト考えたようなそういう流れ、この上の四角をブレークして、
0:54:27	やることを並べていったのが下側の四角ですということで説明したかったものです。
0:54:33	はい。規制庁鳥井ですその時になんですけど、6ページに行って、スロッシングの話なんですけど、先ほど3ページの最後のところで書かれて

	たのは評価、評価の前提となるスロッシングによる溢水量の設定は溢水側の評価を読み込む整理とするっていうふうに言われてたやつは、
0:54:51	この6ページだと、この点線矢印のようなことを言ってるんですかね。このあたりもよく整理されるのかなと思いつつなんですけど。
0:55:00	はい。日本原燃石田でございますはい。点線矢印のつもりなんですけど他のページからするとですね、それはこの設計方針から評価に繋がる矢印が上に伸びて、
0:55:11	評価を合体させるみたいなイメージで書くのがいいのかもしれないその辺が多分統一できてないんだと思います。ただとはいえ、例示として書いていて全体がそもそもカバーできてないのと、
0:55:23	それぞれの加来鶏飼ということの目的が
0:55:28	明確じゃないところもありますので今一度整理をしたいと思えますはい。
0:55:33	はい。規制庁谷です先ほどあった重大事故等対処設備の条文の話とあとはSFPの上部の話で、達成目標違うのでっていうのはありつつもう、
0:55:44	結局一斉評価として合わせてやらなきゃいけないところはすぐやらなきゃいけないところで整理しなきゃいけないのかなというふうに思っているんで、複雑にならない方が悪いところはあると思うのでその点踏まえた上で整理いただければと思います。とりあえず自分からは以上です。
0:56:01	規制庁大岡です。藤。
0:56:04	今の前段の話で整理されるのかもしれないんですけど、7ページ目、外部課題のところも、
0:56:11	B側の結局、森林火災に特化してこう整理されていて他のか財源の話が出てきてないんですが、区別つくもの。
0:56:23	じゃないような気がするんですけどその辺の整理ってどうなっていました。
0:56:28	はい。日本原燃瀬谷でございますはい。それは大変失礼いたしました火災として見るべきものをちゃんと設計方針に入れた上で、展開をしなければいけないので、そこは整理をしていきたいと思えます。はい。
0:56:45	前段のところの整理でまた見えてくると思うので、もれなくよろしく
0:56:51	以上。
0:56:57	規制庁の内村です。それ以外、
0:57:01	何かありますでしょうか。
0:57:04	1点、8ページ目で、
0:57:07	火山のところのSAの特有の話、設計方針のところで書いてあるんですけど、

0:57:14	1、防護方法DBと同じだが一部、SAと冬があるっていうふうにならされて、
0:57:20	何か書いてあるのは、手順の話なんですけど、
0:57:24	この辺りってどう整理されるとかって、
0:57:27	何か考えありますか。
0:57:35	はい。乳井瀬谷でございます実際は、建屋の中に入れて降下火砕物の影響を抑制するというか影響がないようにすると。
0:57:48	いう手順の話をしてるんですけど実際設計としてやるべきことをまずちゃんと整理をするという観点と先ほどの設計説明分類ではないですが設計として考慮しなきゃいけない事項を、
0:58:01	どう整理して説明していくかっていうのは、まだちょっとアイデア具体的なアイデアまではいけませんのでそこも、これ考えながら整理を進めていきたいと思ってます。はい。
0:58:13	規制庁の藤村です。わかりましたSA特に手順関係の話が出てくるのでその辺りは、全体、この火山だけではなくて全体的に整理をしていただけたらと思いますよろしくお願いします。
0:58:28	それ以外、
0:58:31	あ、すみません、補足です。今の話って、
0:58:34	んな、何か問題って、
0:58:37	なのかがちょっとよくわかんなかったんですけど。
0:58:53	はい。ニューメディアでござ問題点や配置設計みたいなものを説明するものだよっていう整理ができればいいのかな。講堂でやるのかは市でやるのか、システムでやるかそういった設計としてその設備を、
0:59:06	に対応した要求事項との関係で、設計をどうやって説明していくかということだと思しますので、今日東條委員で最終的に整理、説明する時の絵姿を考えながら、
0:59:18	設計説明文との関係をどう整理するかということかと思ってます。そんなに、
0:59:24	難しい話をついていうわけではないと思ってますけど。はい。
0:59:28	補足です。それで言うと分類。
0:59:32	として考えなきゃいけないことというよりはその後の説明項目として漏れがないようにね、ちゃんと枝葉ウエダ説明するようにねっていうことを、
0:59:43	どうパス出しするかっていうことですかね。

0:59:46	はい。いうエリアでございます。私はそう認識を、皆さんからの指摘はそう認識をしましたSAの場合は特に構造設計だけの説明というのはその中でのプラスのいろんな運用みたいなものあるので、
1:00:00	そういったもの等の合わせ技で設計が成立してる場合は、共通順位でどうやって説明をしていくかと、抜けがないようにということをしっかり意識していく必要があるんじゃないかと、いうふうに受け取りました。
1:00:16	古作です。藤原さんその理解でいいですか。
1:00:19	藤村です。はい。今、調査官と石村さんとお話やりとりしていただいた話で、私も認識は同じですので大丈夫です。
1:00:30	はい。コサクですわかりました。ちょっと戻った形であれですけど、
1:00:36	外部火災は、先ほど話をされたところで整理をちゃんとしてくれれば特に、
1:00:43	今のその措置なんかも含めてなのかもしれませんが、整理をすればいいだけという気がしますが、溢水については、
1:00:56	矢印の仕方なんかも先ほど話ありましたけど、やはり、
1:01:00	説明すべき項目っていうのはちゃんと分解しきれていないんで、
1:01:05	余りにザツポイントが見えないっていうことのような気がするんですけど。
1:01:13	そのあたりはどうしていくつもりですか。
1:01:27	はい、弓削西田様でございます。まずうえっと、考えなきゃいけない項目を抜けなく上げるということ。
1:01:37	あとはそれと、SLAの設定、セトDの関係、王道を示すかということだと思ってます。
1:01:47	特に
1:01:50	何かエリアがあるかというすいません私も具体的にこうしたいというアイデアがまだ今具体に出てきてるわけじゃなくてこれから考えようかなと思ってた世界なので、そこがまた間違っているとPタイムチャウダという気はしてます。はい。
1:02:04	古作です。これにあまり時間かける意味が私は感じてないんで、イメージ刺さって作って、認識共有をした上で、先ほどの、
1:02:16	後ろの表になっていくような、おそらくこの表って十時 17 を変えていく中の、そう抜粋したっていうことに、
1:02:24	実態上はなっていて、先ほどの瀬川さんの説明もそういうことなんじゃないかなと思うんですけど、それに繋がるように、ポイント認識してここの

	部分でこうしていかないとねっていうふうにつなげていければいいんだと思うんですよ。
1:02:40	そうする等、一斉
1:02:45	は特にですけど、
1:02:48	起因となるものを、事象の想定ということのフェーズと、
1:02:53	その際に
1:02:55	構造設計の話も入ってくるし、ということ抜き出すのと、
1:03:02	あとそれぞれの事象において影響がどうなるのかっていうことを整理を するところと、そのときに、対策として講じるものの構造設計等々、
1:03:14	ということがあって、
1:03:18	溢水件と。
1:03:20	防護対象とっていうところでそれぞれどっち側にも、
1:03:25	ぶら下がる可能性がある。
1:03:27	ということなので視点を、加害者側被害者側と、
1:03:32	いうことを抑えつつそれぞれ説明する必要があるけど、
1:03:36	ということだろうと思うんですね。そのそれぞれにDBとしてSAとしてって いうのがあるってということなので、やることをきっちりと図に表すと、
1:03:49	いうことをまずしっかりやっていただいて、
1:03:53	その時にDBとですねまとめて書いて違いで見せるのか、横に並べるの かっていうのはやってみて考えていただければいいと思いますけど。
1:04:04	まずはそう言った。
1:04:05	パッと作って、漏れがないかっていうのを確認したらいいんじゃないかと 思いますけど、どうですかね。
1:04:15	はい。弓削ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通り だと思いますこの辺にあまり時間をかけるのも意味がないところもある し、そうですね。
1:04:26	もともとのこのA市だったか竜巻だかどっかを規定にして私がバーツとこ ういうところにアノミズタて書いたやつを絵にしてもらっただけなので、そ ういうことかなと思いますので、はい。
1:04:38	整理失礼速やかにしたいと思いますはい。
1:04:42	はい。補足です。特に一斉であれば1水源の設定で、地震起因なのか 破断、内部事象での破断なのか。
1:04:53	ていうようなことだったり、小カー水なったりと、
1:04:58	いうところで、

1:05:00	分けをしなきゃいけないはずで、そういう項目が漏れてると、議論が多分できないんじゃないかなと思うので、やるべきことっていうのは、全体と、全体網羅して、
1:05:12	全体像を見えるようにということかと思います。
1:05:17	特に先ほどお話のあったスロッシングについても、両面あって、何か、
1:05:27	あんまり論点なさそうですけど、これ、結構ちゃんと整理をしないと、
1:05:31	こんがらがりそうな気がするし、
1:05:35	全般に 1.2Ssのことが見えるような資料にもなってないしということで、
1:05:44	もう、どちらかとこれだけでもスパッと整理をして話を聞きたいなっていうぐらいなので、
1:05:50	よろしくをお願いします。
1:05:55	はい、宮城西尾でございます。はい。ちょっと資料のつくり位だったりあと今後のヒアリング等の進め方だったり、整理を速やかにさせていただきます。はい。
1:06:07	はい。補足ですその前の竜巻ですけど、これもちょっとどうなのかなっていうところがあって、
1:06:14	SAIについて、DBと同じですっていうような書き方をしてるんですけど、一方で防護方針防護方法の具体は、SA側で特定とかって言ってたりして、
1:06:27	何言ってるかわかんないんですけど、どういうつもりですか。
1:06:36	広めのセガワです。
1:06:38	ですね、何か本当に鶏卵みたいな感じになっちゃってますけれども、登場人物、4 ページの例でいくと、SAとして守りたい東條議員物は屋外のダクトですと、
1:06:51	いうのを挙げてみ見た上で、それって安重がDB側と比較してみると、全く範囲も、対象物も同じだよなというのがここで一旦特定されました。
1:07:03	守り方はどうしますかと言ったら、飛来物防護版のようなものをSAとしてもやっぱり設置して守りたいねというふうになるんですけど、それをもってですね、TB側を振り返ってみると、おんなじ範囲で飛来物防護番いるねと。
1:07:18	いうことが明らかになった、それをもって、4 ページのですね白抜き矢印のようにですね、デービーと結局、登場人物の回り方も守る方法も同じだよなという結論に、
1:07:31	至りますというのを表現したかったということです。はい。
1:07:38	古作です。それで言うとう今の例示が悪いと思うんですけど。

1:07:44	オクが保管の大型移送ポンプ車とか、
1:07:49	そういうのはここに入らないんですか。
1:07:54	はい。日本原電の瀬川です。小令和、すなわち先ほどから出ていますね、守りたいものと、守り方の組み合わせがきちんと網羅した絵になってないという部分で、情報が足りておりません。
1:08:10	大型移送ポンプは大型移送ポンプとしてですね分散して保管して、同時機能喪失させないというのが、今の設計方針となっておりますので、そういう目がちょっと見えない、見えてないのを改めて認識した。
1:08:24	とコサクです。分散配置もそうですけど固縛しますよね。
1:08:30	日本原燃の志賀です。失礼いたしました固縛した上で分散して保管するという設計です。
1:08:35	コサクです。なのでその固縛はここで書かないといけないんだと思うんですけど、認識されてます。
1:08:45	日本原燃の瀬川です。この資料を変えたときにそれを認識したかというところと真子恥ずかしい限りに認識してなかったからこういうふうになってしまっておりますので、
1:08:55	先ほど来出ていますね外部火災とか溢水ってご指摘受けてる通りですね、設計として配慮すべき観点の点というのをしっかり全部、
1:09:05	洗い出し洗い出してさらけ出すという対応で、しっかり是正していきたいと思えます。
1:09:13	はい。補足ですよろしくお願いします。
1:09:18	話を戻すような感じになりますけど、結局は共通中にしっかりと、
1:09:23	網羅的に説明ができるように、どう構成していくかということなので、その点でここで
1:09:31	網羅的な視点が漏れてしまうと、分類が悪いとなってやり直しになっちゃうってことになるんで、共通中に資料 123 と、いや、
1:09:41	ていく中でA3 のイメージをしっかりと持ってですね、対応いただくということが大事かなと思いますのでよろしくお願いします。以上です。
1:09:59	清町の藤原です。それでは後ろの方ちょっと 9 ページ以降は、若干イメージがちょっと違うものというか、一番最初にいろいろと議論があったところではあるんですけども、
1:10:11	この記載の中で気になる点あること。
1:10:14	ご発言をお願いしたいんですけどもいかがでしょうか。規制庁側からですね。
1:10:34	規制庁の藤原です。

1:10:35	今回横に並べるものとしてこういう形がいいのかっていったところを最初にもう
1:10:42	この比較書、
1:10:43	どうなのって話があったので、細かい部分とかはあんまり、
1:10:48	今後むしろ、
1:10:51	きちんと目的を達成するための資料になったときに、検討を行ってそれから、添付資料にじゃあどこまで含めなきゃいけないのかみたいなところが殊、
1:11:02	47 ですかね、の中できちんと整理されていくのかなと思っているんですけども。
1:11:07	ざっと見ても備考欄で、実際、
1:11:12	備考としてどういうこと書いてあるのかなというふうにならちら見えても、柿田れていないところがあったりしたような気がします。
1:11:20	実際これって、イセ側だけで考えてる話に見えるのになあとかいうところもあったので、
1:11:27	備考欄のどういう形で整理されるのかっていうのは今後出てくるかと思うんですけども、違いであったり同じであったりっていったところは、きちんと整理をして、
1:11:38	本当にそうだよねっていうのを確認した上で提出をしていただきたいと思います。
1:11:43	ので、全体整理をする中でその辺りも、料理留意していただいて、提出していただきたいと思いますが、大丈夫でしょうか。
1:11:54	はい。人間のイシダでございますはい。承知しましたというか承知しておりますというか、はい。おっしゃる通りだと思いますので、
1:12:03	目的に沿って、ここで比較をして結果どういうことを導き出したいかということ考えた上でまたそれが合理性があるということの根拠も含めて、
1:12:16	企画をしっかりとしていくのかなと思ってますはい。
1:12:23	規制庁の藤村です。よろしくお願いします。
1:12:27	その他全部、この資料全体でも構いませんが、規制庁側から何かありますでしょうか。
1:12:35	規制庁田尻です。
1:12:37	詳細は今後ちゅうのでいいんですけど、ちょっと何さしてるかだけ確認しておきたいんですけど、17 ページなんですけど、
1:12:50	備考欄のところ取水口衛生固有の内容であるため設計説明文の中で差分説明するって言うてるこの取水口って何さしてるんですけど。



1:13:02	はい。日本原燃の瀬川です。取水口はですね、保管庫の下にある貯水槽ですね。
1:13:10	そこから水を引っこ抜くためのですね、口のことを指しておりまして、保管庫での溢水に対してはですね、溢水高さを制限するために、その取水口を通じて貯水槽側に水が落ちていくという効果を期待しております。
1:13:27	そういった内容を、ここで示していたつもりでございました。以上です。
1:13:33	規制庁のタジリ津オカンこの溢水っていうのは、どこから来た水のことを言ってるんでしたっけ。
1:13:41	はい。日本原燃の瀬川です。保管庫の中にもですね、ユーティリティの冷却水配管が通っておりまして、他の固有のですね、1 水源を持っております。
1:13:52	規制庁館です。そのいすアノ没水高さが遠近の方になるから取水口あんま対策設備というか被水経路として期待したいとかそういうことを言ってるってことですかね。
1:14:05	はい。日本原燃のセガワでサノご認識の通りでございます。
1:14:09	規制庁館です。なんで、動的に動くどうこうっていう単なる経路の話かなととりあえず理解したんですけど今後内容聞ければと思います。あともう1点なんですけど
1:14:20	ちょっとその辺見当たらなくなっちゃったんですけど
1:14:23	何か防水シートみたいなやつが書かれてたんですけど、
1:14:27	18 ページの一番下とかで防水シート等とかってのが出てくるんですけど、DB側だと割としっかり書こうって被水対策をしたりするんですけど、ここで言ってる防水シートっていうのは、
1:14:40	はい対策設備みたいな位置付けなんでしたっけ資機材とかですか。
1:14:45	はい。日本原燃の瀬川です。対策設備ではないかなと、資機材かなという認識ではおりました。
1:14:55	きてた辺りです。
1:14:58	失礼しました。運用資機材なんですけれども、一方で被水なんかに対してはですね、
1:15:08	IPX4 等級程度の能力を持つてるといった部分は確認しなければならないというのは、このシートに対しても同じだとは思っております、
1:15:20	そご等の説明も併せ技かなというふうに思っておったところです。
1:15:26	規制庁田尻です。今おっしゃられたように被水な影響は特許決められているので、それどこまでっていうところにはなると思うんですけど、

1:15:36	シートっていうのがどういったものを指すのかとか結構SAの方って何かケースに入れたりとか何か台の上に乗っけてたりとかいろいろあったような気がするので、やっぱりDBと違う考え方にされてるんだと思うんですけどそのあたりもどっかでタイミングで整理説明いただければと思うんでよろしくをお願いします。
1:15:54	はい、古川です。承知いたしました。
1:15:57	コサクですここで書かれてるのは、保管時のってなってるんですけど、治療時の防水シートっていうのはどうなるんですか。
1:16:10	はい、日本へのセガワです。ですね、使用時の被水というものに対しては、許可上の整理、まず申し上げさせていただくと。
1:16:20	被水機能喪失する場合には、予備品と交換すると、というような整理で対応しておりました。まず事実としては以上です。
1:16:32	古作です。
1:16:36	何ですかね、壊れたらそうなんですけど、これ一使っているものは使えるように防水シートを設置すると思うんですけどそういったことは、
1:16:49	考えていると聞いたような気もするんですけど。
1:16:55	どうなっています。
1:16:58	はい。日本原燃の瀬川です。
1:17:02	ちょっと
1:17:04	まさにしっかり議論をしたいと思ってたところ、先取りで指摘されちゃったなという感じなんですけれども実態、実態としては、許可の整理をそのまま踏襲してですね、対処時に、
1:17:18	シートをかぶせる、そんなような対応はしていないのが実態でございます。以上です。
1:17:26	ごめんなさい、補足ですけど、
1:17:30	許可時にそういう議論はしてなかったのはそうなんですけど、現地確認をさせていただいて、
1:17:36	物件まだここは溢水っていうところですよ。
1:17:39	お話をしてしまったのはいけないんですけど、雨天時の使用云々という時に、防水シートを用いないと、使用条件として不適切ですよっていう、
1:17:52	ことがあって、その対応はとるんだと思うんですけど、その対象はまだ整理中ということですか。
1:18:01	はい。日本原電の瀬川です。申し訳ございませんそこをちゃんとフォローアップできなかったですね、運転ですとか、当運転4 そういったですね積雪、風、

1:18:14	こういった対処中に当たり前のように想定される現象ですね、これに対してはしっかり環境として耐えられるというか使用時においても、それを考慮した配置運用、そういったところをやるってのは前提として考えておりました。
1:18:30	一方で、今古作さんが医師引き続いての0にするのがよくなかったかもと言っていた通りですね、
1:18:40	要は、ランダム要因的に発生するような、極値の現象ですね、例えば事故対処数に竜巻が発生するとかですね、そういうのはなくても、固縛だとか
1:18:53	常識の範囲でやるんですけれども、そういう局地的な現象、こういったものは重ね合わせていないというのが今の考え方でした。以上です。
1:19:06	はい。補足です別途整理をさルールということで理解をしましたが、何で今言ったかっていうと防水シートの機能としては同じだろうという
1:19:18	D、D屋外DBの屋外設備においても、降雨の対策がゴトウれてるから被水影響ありませんっていうような言い方をしているところがあるですね。
1:19:29	であれば方針として同一性、包含性があるように整理をしていかないといけないのでちゃんと整理を、言葉じり含めて合わせてくださいねっていうことを話してたと思いますので、
1:19:42	この点も一緒かなと思ってお話をしました。今後、整理だと思えますけど、よろしくお願いします。
1:19:51	はいセガワで承知いたしました。
1:19:58	規制庁の藤原です。その他、規制庁側から、事実確認ありますでしょうか。
1:20:09	規制庁の古作です。念のためですけど、まだこの文章を練る段階ではなくて、
1:20:17	何を説明する必要があるのかというところの認識合わせから思っています。現状の記載だとスロッシングの扱いが余りにも曖昧だ、TVの方も含めてですね。
1:20:29	曖昧だっていうようなこともあって、
1:20:34	それをもとにしただけではとても対応できないんじゃないかなっていう気がしますし、それで、それはアクセスルートもしっかりということなんで、まずは何をやるべきなのかっていうことをしっかりと、
1:20:48	次回あげてですね、その認識があったところで、それが現状欠けているのか、かけてないのか、書けてないところはどこで書くのか。

1:20:59	現状欠けていると言ってもわかりにくいものはどうずらすとわかりやすくなるのかというようなことを考えていただければと思います。以上です。
1:21:10	はい、日本円のセガワです承知いたしました。
1:21:17	規制庁の内村です。
1:21:18	その他なければ、振り返りをするにあたって、
1:21:24	現場は十分ぐらいの休憩で大丈夫ですか。
1:21:31	はい。ほどお時間いただければ大丈夫ですか。わかりましたじゃあ、衛藤振り返りするのに、江藤小、今、14時51分なので、15時から、
1:21:43	再開するというごことをお願いします。
1:21:46	録音を停止します。
0:00:01	録音を再開しました。それを振り返りの方、お願いします。
0:00:07	はい。与儀ニシダでございます。
0:00:10	今回の振り返りでございます画面に表示させていただいておりますが、
0:00:16	①番2番は、共通的なもので、今回の資料の目的をちゃんと整理をした上でその目的に沿って、
0:00:25	どういった資料を作っていくかということ認識を合わせながら作業を進めさせていただくということと、進め方の視野でお示した全体いろんなタスクが立ち上がってますのでそれぞれの関係も踏まえた上でこのタスク自体の目的と、
0:00:39	いうのを踏まえた資料にしていくと。
0:00:42	ということです。
0:00:44	③番以降個別と書いてますが共通的なものを踏まえた上で個別としてのポイントということを挙げさせていただいております。
0:00:57	③番、設計プロセス、流れの図を書いてますけども、図のゆDBの要求事項の
0:01:04	とSAの話それぞれちゃんとももの、あるべきものをちゃんと上げた上で、それぞれ整理をするということと、上で、設計のポイントになる部分をちゃんと抜けなく整理をするということ。
0:01:18	あとは、SAとしては、土肥評価条件ところ、評価条件、評価の方法とかか評価の内容を、合わせ技でやるものというもので、火山とか竜巻なんかを挙げてますが、
0:01:31	全体やるべきことってね整理も他にあって、それ自体の間や位置付けであったり、先ほど2番とかであった全体のタスクでどこでやるのかということとの関係も含めて、

0:01:43	今回のこのタスクの中での資料としてどう整理していくかということを示していくということかと思います。
0:01:51	あとSAの個数容量の扱いこれまで我々の方で説明できてなかったところをちゃんと整理をして説明をするということ。
0:02:01	あと6番は今回
0:02:06	違うの6番悪いか。
0:02:08	外部火災のやつですかね。
0:02:11	ええ。
0:02:14	森林火災しかDBに書いてないというのも含めて、設計として配慮すべき事項をちゃんと抜けなく書くということ、DBとSAの関係がわかるように見直すということと、
0:02:24	あとはこれ自体整理をしてどういうふうに整理をするのかというところに、層がないように、
0:02:32	認識共有をさせていただく意味で⑧番にあります、Bの溢水量0に整理をして、
0:02:43	ヒアリングをまた別途設定をさせていただこうと思います。
0:02:49	はい。あと7番は、SAの方では運用要求みたいな運用みたいなのも設計とセットになって説明する必要があるものもありますんで、
0:02:58	共通要因の中ではそういうのが抜けがないように説明をしていく。
0:03:02	また、これも今、設計説明ぶりの徹底等と書いてあるタスクの中で整理している。
0:03:10	表の中でも設計要求として漏れなく整理をしていく必要がありますのでそちらのタスク側にも反映をして展開をさせていただきます。
0:03:19	はい。下盤は今回の資料が立場多分がらっと変わると思うのであれですが比較をした時に最終的にどういう考え方に立つかという時にはしっかりと根拠も含めて整理をしていくと。
0:03:31	ということです。
0:03:33	10番の方は先ほど最後の方にあった
0:03:39	使用時の環境に対する対応としてSA特有で何かやる場合っていうのは当然DBとSAとす相互関係、
0:03:48	ところがないように、お互い共通だよねというところも含めて、関係性を整理をして説明をさせていただきます。
0:03:56	ということです。はい。
0:04:02	規制庁の藤村です。
0:04:04	あとスケジュール的なところで、

0:04:07	聞いていたり、東映と関係するような整理に対しての影響みたいなところを聞きたいんですけども、まずこの資料をもう一度整理した上で、その次の段階で10時17人っていう話だったので、
0:04:20	この資料の整理っていうのに、
0:04:22	次、提出、どのくらいになりそうとかっていうの、今で大体めどがわかれば教えていただきたいんですけどいかがでしょうか。
0:04:37	はい、弓削弊社でございます。ナカが痛くなってきましたが
0:04:43	そうですねまずブロックフロー全体をなめて論点論点とか、ポイントが漏れなくということで、整理がしやすいところもあるので、
0:04:54	フローと最後のフローの答え合わせじゃないですけど、ポイントを整理した表の形とということで整理をしていきたいんですけど。
0:05:06	フローの方は、まずは、溢水を対象に、
0:05:14	1週間もいないね。
0:05:17	数日ぐらいだね。
0:05:19	整理をしていくのかなと思ってます。あとは全体の資料のパッケージ目的と、パッケージとしてどうしていくかあとどこを他のタスクに預けていくのかという整理も含めると、
0:05:33	1週間ちょいかなという気がしてます。それによって他のタスクに影響するかというところでいくと17は多分直撃になる気がするので全体のスケジュールは、
0:05:46	金曜日までに木曜日の今後の進め方の資料を出すまでには考えて提示をさせていただきたいと思います。
0:05:54	それ以外の設計説明ぶりの設定とかですね、溢水のタスクには直撃というヤマモト考えてた構成をもとに、それぞれ整理をしますのであまり直撃はないと思ってますので、
0:06:08	影響するのは、10時10名なんかかなと思ってます。その全体の整理も含めて
0:06:16	木曜日資料提出の金曜日の今後の進め方では、何か問題があれば、当然ながら示しますし、全体の流れということもお示しができればと思います。はい。
0:06:30	規制庁の橋浦です。わかりましたで、今後の進め方の資料の3日提出の分なんですけど、前回おて、
0:06:40	提示いただいた4ページのところの関係性もきちんと整理した上でっていうものが木曜日に出てくると思っていいんですよ。
0:06:50	はい。弓削0社でございます。はい。そうお約束をしたと。

0:06:55	思っておりますので、
0:06:58	出せると出しますはい。
0:07:01	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
0:07:05	その他、規制庁の内村です。その他、スケジュール関係、また振替について、規制庁側から何かありますでしょうか。
0:07:19	規制庁コサクですけど今の話も含めてよくわからない。
0:07:24	ですけど、
0:07:26	振り返りでメモを起こされたやつは何か、
0:07:31	ここの話をして、この資料を見直すっていう感じで書いてあるんだけどそもそも資料のイメージ合っていないっていうことで、新たに
0:07:42	ポイントを突いた形で簡潔に資料す。
0:07:47	を、まずは作りますということであって、具体については十時 17 番にゆだねるということだったと。
0:07:55	思うんですけど、
0:07:59	9 ページ以降の話っていうのを、何かこの資料を直すかのように書かれているのは何か違和感ない。
0:08:07	思ってます。
0:08:12	前段の
0:08:14	まずは、概略の認識共有をした上でという、
0:08:19	本来は 3 日にやりたかったことと、
0:08:24	いうのを、
0:08:26	少し軌道修正をして、今日、今日で軌道修正ができたということで、やる一。
0:08:33	内容を、
0:08:35	今日確定をさせて作業に入らなきゃいけないということだと思いますし、スケジュール感を、
0:08:43	今週金曜日、金曜じゃないか。
0:08:47	金、金曜日 1 個、
0:08:50	進め方冷やで話をさせていただくということ。
0:08:54	ですけど、
0:08:56	通出す必要があると言われた。
0:09:03	が十時 17 だけのようなんですけど十時 17 自体は 23 日あって載ってましたって、
0:09:10	場合によっては、

0:09:13	その時間の中で吸収して作業ができるような気もするんですけど。
0:09:17	一方でこれを踏まえてじゃナイトウヒアリングができない。
0:09:22	設計説明分類はナノカー8日火やっていうことになっていて、
0:09:28	逆にこのヒアリングさすがに順番が逆転するっていうのはいかがなものかと思うんですけどそれをありっていうことなんですか。
0:09:41	はい。宮城の石原でございます。はい。そこも私がちゃんと頭の整理をしないといけないですね。順番、抵抗にできる条件は
0:09:50	大枠がもうわかっていてそれほど、
0:09:55	インパクトはグレーがないだろうということが前提だと思いますけど、
0:09:59	先ほどの4ページコウノブロックフローじゃないですけどああいうまとめをしても、それぞれの関係性が整理できてないので、
0:10:08	それを前提に、当然、設計説明部位の設計の設定の考え方は構築をし説明をしていこうと思ってましたので、
0:10:18	そこも含めて全体どういうスキームでそれぞれやっていってそれと相互関係も含めてどういう順番でヒアリングを構築していくかということは、今一度整理をさせていただきたいと思います。
0:10:31	少なくとも金曜日には考え方や、どういうふうに進めていくかということはお示しできるようにしたいと思います。はい。
0:10:42	はい。補足ですよろしく申し上げます。今後の進め方とあわせて、その七、八冷やの資料を提示っていう形になっていてですね。
0:10:53	今日、
0:10:54	クーロン雄踏、やるのであれば、
0:10:59	大枠でも、リバイスの資料は出されるっていうことなんじゃないかなと。
0:11:05	少なくとも七、八のヒアリングの前までには、
0:11:10	いうことだと思うので、
0:11:14	その点はよく考えてまた進め方冷やで説明いただきたいと思います。今七、八とその進め方冷やでの記載。
0:11:24	として話しましたが実際には8日の午前で言いません。
0:11:28	予定してるので、
0:11:30	7日中に出していただければという感じですけど、全体スケジュールずらすことも可能ではありますが、どんなイメージでいいですか。
0:11:48	はい。日本原燃志田でございます。はい。前後関係からいくと、そうですね。設計説明分類の説明の前には、全体の整理先ほど理由ブロックフローみたいな、



0:12:03	整理があつて設計説明文の説明になると思つてますのでその資料のリンクも含めて、
0:12:11	設計説明分類の前にそれを説明するとなつた時に試料の歴も含めて、今後の進め方の中平の資料の中にそういうのを入れてアノセ
0:12:23	こういうイメージですつていう説明をするか。
0:12:25	もしくは、設計説明分類の説明と入れ替えて先に、今回のやつを整理し直したやつをやつた上で、翌週とかに設計説明文の説明を送るか、
0:12:39	ちょっと順番も含めて考えたいと思ひますはい。
0:12:44	とコサクです。翌週にまでずらす必要はないと思ひますよ先ほど石原さん言われたように、大きく何か内容が変わるつていうようなことではなくて、
0:12:56	ちゃんと前座は踏んでるよねつていうことぐらいだと思つて。
0:13:01	シリーズになっていれば或いは同時ぐらいになってればつていうことだと思ひう。
0:13:08	てますから、
0:13:10	その感触がちゃんとつかめるように進めていただければ結構かと思ひます。
0:13:18	それで、
0:13:22	と、今日の
0:13:26	ヒアリングを踏まえて次に出す資料のイメージなんですけど、
0:13:33	これもだから前後関係ちよつとどうしたらいいのかつていうのありますけど、
0:13:38	設計説明分類能設定の考へつていう方で、大枠説明項目の関係性を、が整理されて、その内数である、
0:13:52	項目についてここで整理をするんだつてなつちやうと。
0:13:57	逆に 8 日午前のヒアリングの資料の方が先かみたいにもなるわけですね。
0:14:05	なので平行してもいいかという気もあるんですけど、そこら辺の関係性を整理をして、
0:14:15	どの程度書くかつていうのが 2 ページのところですし、それは金振り返りで言えば丸一井で、
0:14:23	整理をしている話だと思ひますね。
0:14:27	②が、
0:14:28	ちよつとよくわかんなくて、進め方冷やでは矢印三本出てますねと言つたんですけど、小令和書いてあるの一般の部分のことしか書いてない。

0:14:39	ですよ、他の2分ってどうなってるんですか。
0:14:47	日本イシハラでございます小俣そうですね失礼しました。ちょっと少なくとも出します。そう。
0:14:55	①番の話は結局は、②番でいう目的、この全体のタスクでいうコウノ資料の、このたくさんの目的、イイダとってますので、
0:15:07	それが関係するのは前回進め方日出生示した通り設計説明分類の設定を、十時17、あとは溢水の説明と、三つがリンクしますとそれに、
0:15:19	つなげるのに、さらにこの立ち位置をどうするかということで整理をさせていただきます。はい。
0:15:27	はい。補足です。おっしゃる通りで、①のアウトプットイメージというのを、②で今書いているっていう状況になって、アウトプットは進め方日ヤノ資料であれば3本になるんですけど、
0:15:42	結局三つに分ける、分けていけるために何をすべきかという、説明項目を漏れなく上げるということ、その項目がDB性でどういう関係にあるのかということ整理すること。
0:15:57	ということなので、それがちゃんとここに書かれてあるべきだったんじゃないのかなというふうに思います。麻生と井筒それが032。
0:16:08	入っている。
0:16:10	んですね。
0:16:13	③に書いてあるのにその上の方に書いてないっていうところがまた悩ましいところですけど、
0:16:19	その位置付けは
0:16:21	理解いただけたと思いますので、対応よろしくお願いします。
0:16:31	はい、宮城石田でございます。はい、承知いたしました。
0:16:39	規制庁横山です。
0:16:42	規制庁コサクです。ごめんなさい。で、あと④もう記載がおかしくて、
0:16:49	環境条件以外の個数試験云々ってこれ話が二つごちゃまぜになっていてですね。
0:16:56	書いてある環境条件以外にも環境条件考えなきゃいけないことありますよねっていうことと、
0:17:03	環境条件とは別の個数云々というものもありますよねということ等がまざっちゃうと何か話がずれているように見えるんですけど大丈夫ですか。
0:17:15	はい。二本木ニシウラでございますはい。5番との関係も含めて、まず4番を二つに分けます。はい。

0:17:22	おっしゃっていただいている通りで、今回評価の視点ということで、火山 竜巻水化学薬品の上挙げてますけど外部火災のか。
0:17:31	それ以外にも環境条件で見なきゃいけないことあるよねっていう話でそ れはどういうふうにて手当していくのか、それは2番とか3番、2番かな とか一番農関係での目的の話との間、
0:17:45	整理が必要だと、いうことと、あとは環境条件以外にSAとして見なきゃ いけない項目があるのでそれについての整理の考え方、これも同じよう に設計説明分類にいい関係をする部分の整理としてどうしていくのか と。
0:17:58	いうことというのを二つに分けて、
0:18:02	メモとしても残しておきたいと思います。そうしないと、やるべきことが抜 けてしまいますのではい。
0:18:09	はい。補足です。一方それを分けると5番は吸収されるのかなっていう 気も。
0:18:15	するんです先ほど説明でもそんな感じでお話されてましたけど、その 点は整理をしていただいて、⑥番もう④の
0:18:27	環境条件っていうのでその以外じゃない、内数の中にも、長採泥少し足 りてないところがありますよねっていう、効果的なコメントになってると思 いますので、その点は
0:18:41	結局のところ網羅的に漏れのないように、注視してくださいねっていうこ との具体になってるんだと思いますけど、理解は大丈夫ですかね。
0:18:51	はい。与儀ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りか と思いますので、①番で言う、論点漏れがないようにということ、あと項 目としてもまず、
0:19:04	aとして抜けがないように、
0:19:06	ということかと思しますので、そういったことを整理をしていくということ だと認識をしています。はい。
0:19:13	はい。補足です。それ以降も同じような話なので繰り返しはしませんけ ど、
0:19:22	先ほど申し上げた⑨、
0:19:26	9ページ以降っていう話は、
0:19:29	記載することとかっていうコメントというよりは、
0:19:35	もう家、
0:19:37	局はどこでどうする、していく方針なのかっていうことをもうちょっと明確 にした方がいいと思うんですけど、どういふつもりでいます。

0:19:52	田所議員。
0:19:54	はい。日本原燃一緒でございます。売ろうと、後ろの表は今回の表というよりは、前回の設計説明分類の説明に使った、
0:20:09	設計として考慮すべき項目のを縦軸にした比較をしながらそこが論点として同じなのか、それとも差異があるのか、同じだということには何でかということの、
0:20:21	整理を進めていくのかなと思ってます。この資料としてまずですね、ただ最終的には1017に預けたりもするんですけどもそういう整理をしていくために、この
0:20:32	比較をしたときの考え方っていうのをしっかりと書いていくということかと思いましたので、そこもフォローしが抜けないように、記載を修正をしていきたいと思えます。
0:20:47	コサクです。それで雄踏、⑨は何らか表として次回提示をしますと、その際には、DBとSAの違い、その根拠。
0:20:59	をわかるようにしていきますってということと理解をしました。
0:21:03	その上で、今後は十時じゅ、その後は十時17の方でそれを踏まえた記載というのを整理をしていきますということに繋がるというふうに理解をしましたけど、
0:21:17	一方で⑧の方は、表とは違って図示もしますと、
0:21:22	いうことでその際はプロセスを踏まえながら、漏れのないように変えていきますということで理解をすればいいですか。
0:21:32	はい、日本イシハラでございますはい。おっしゃっていただいてる通りでございますはい。
0:21:38	はい、古作です。わかりました。そうすると⑧が溢水だけになってんですけど、次回溢水だけで議論するつもりですか。
0:21:49	はい。弓削イシハラでございます。
0:21:53	取っかかりと思いましたが今回いろいろ出しておいて一斉だけ抜いてやって他の議論は、じゃあどうすんだって議論になるので、
0:22:02	そこの定義は、全体としてやっていかなきゃいけないですかね。はい。
0:22:11	トップ昨日ずしスルーまでもないっていうようなこともあると思うんですけど、
0:22:16	その関係で言えば④番ですよね、分分割されるところでいったところの両面あると思うんですけど、そこを整理されると図示すべきものは何かあってということがあってそこで議論すれば他は以下同文的なところで、
0:22:35	次の作業ができるってということだと思うので、

0:22:40	次回論点漏れのないようにはしておいていただきたいなとは思いますが。
0:22:49	はい、弓削西浦でございます承知いたしました。
0:22:54	規制直接ですっていう要求をすると、何か一通り考えるのに時間がとかっていうことで、遅れそうな感じは。
0:23:03	何となくによっては来るんですけど、
0:23:06	概念整理さえすればいいんで、1日2日でサッとやって、
0:23:16	サーッとチェックしてみて、
0:23:19	漏れがありそうなら何か付記しておいて、それでどうしようっていう感じで結構ですんで、短期間で作業して、またヒアリングに臨んでいただければと思います。以上です。
0:23:32	はい、日本ネシアでございます。はい。その心が呼ばれてるようで言いたいですがはい。おっしゃっていただいている通りだと思っんで時間をかけてもあまり
0:23:42	自分たちの中でグルグル回って答えに行き着かないパターンもあるのであまり時間をかけずに、
0:23:48	やっていきたいと思っちはい。
0:23:54	規制庁横山です。他、規制庁かオカ全体通して何かありますでしょうか。
0:24:07	内容は原燃側が全体通して何か連絡事項等ありますでしょうか。
0:24:13	ヤギ値が特にございません。
0:24:15	はい。
0:24:17	それではこれ、これが本日のヒアリングを終了します。録音を停止します。